

みんなの文芸



俳句 うらほる俳句会

お互いに葉仕分ける雪の朝
暖簾より灯りこぼれて雪しきり
崩さまじ新たな力年はゆく
吹雪く空バツクル締めいぎ目出し帽
あらたまの掛軸さらさら筆の跡
数え日や仏具磨いて星月夜

井下まさの
大山みどり
柴田 岱華
菅谷 日月
福原 仁子
山村 幹雄

川柳 浦幌川柳会

友が逝き整理せねばと思うだけ
雑念をゆつくり払う春臙
霜柱蹴とばしながら貴方待つ
認知症嫌な言葉を認めます
北朝鮮かつての我国去来する

山村 幹雄
阿部 麗紅
加藤 未貴
橋本 葉子
大山 研

川柳 上浦幌句の会

お正月孫子の笑顔お年玉
賀状書き外は静かな雪の舞
がんばって越して来たかよ八十坂
朝ドラマ見ようと座れば日曜日
臼杵の出番なくなり欠伸する
過去を恋うあみ棒進まず粉雪舞う
大みそかおせち食べて除夜の鐘
クリスマスプレゼントもらう孫の顔

笹島カヨ子
河村みよ子
芳川 乙美
加藤 明敏

短歌 心友愛会

寒い日が続くこの頃買ひ物の
帰り猫と取り合うストロップの側
雪道を病む足底い歩きます
仲間が待つ会館へ急ぐ
年あけて今年も一年健康で
笑顔で健康希望に満ちて
雪道を転ばぬ先のつえ
使つて初めて解る事あり
老いた今足腰よわり転びます
どこへもいかず冬ごもり
くじけては会の皆に心配を
負けてはならぬ頑張るわよと
増えて来る葉の数と顔のしわ
老いて無くなる記憶とお金
病み上がり足もとふらりおぼつかぬ
孫に手をかり初詣で出来

山岸 明美
小澤 つや
中田 麗子
前川 静江
浅野 京子
小川 房子
佐藤 成子
星 愛子

編集後記

■12月から1月上旬は降雪と雨やみぞれの繰り返し。加えて夜にはしつかり冷え込み、至る所がつるつるに。車も自動車も十分気を付けて、怪我無く冬を乗り越えたいものです。

■成人式は、新成人の皆さんも保護者の皆さんも晴れやかな笑顔で、取材する側にとつても嬉しいもの。特に小学生時代から顔見知りの子どもたちが立派な大人になつてゐるのを見ると、感慨深いものがあります。

■1月27日(土)・28日(日)に開かれる「しゃつこいフェス2018」。今年は初の試みとして初日の前夜祭を上浦幌で開催します。若者が生み出し、年々進化を続けるフェス。当日が楽しみです。

(大)

■掲載された写真は、差し上げますので(本人または家族)、お気軽にご連絡ください。